

附加税制度を全面的に排除

九月十五日わが國の税制史上

地方税制は、地方自治を強調して從來の本村税は、住民税（？）に若干の雜税を又市町

寄附金を減殺

は、それらの獨立税體系となり、各地方團體の責任において徵税の確保を期せねばならぬことになつてゐることは一大改革である。

地方税總額は、昭和二十四年度の一、五〇〇億圓から一、九〇〇億圓に、四〇億圓の増額を見込まれていて、その内譯は府縣税は、七〇〇億圓で増減はなく、市町村税は八〇〇億圓から一、二〇〇億圓に五〇%の増となっている。これは現在

市町村において徴収している税に代る寄附金を極力減殺するに因る点も含まれているのである。

現行税目中課税方法などの改正を勧告されているものを舉げると

新事業税（府縣稅）

従前の事業税は利益（所得）に對する課税で

額は四四〇億圓程度となる見込みである（現行事業税五〇〇億圓（附加税とも）
入場税（府縣税）は

一日を楽しむ
太公望
(築港にて)

の課税に擴大されてい
る。資本價值の評価は
時價によるが農地に對
しては一定の基準を設
けられる見込である。

雲の姿
波の光
秋はようやく
深まつた
萬事を忘却

いては外形標準である附加價值（總收入金から仕入品の原價や建物、機械などの資本的設備に要した經費を控除したものの）に對する課税に擴大されてゐる。農民には販賣價格に廣汎な政府統制が行われ又地租、家屋税の改正などから本税を免除せらるべきである。と勸告されてゐる、税總

る

不動産税(市町村税)

従前の地祖家屋税は算
貸價格によつて課税し
ていたがこの税は在庫
品、有價証券、現金な
どの減價償却ができな
い資産を除き不動産そ
の他減價償却のできる
資産の資本價值に對す

移轉額は 現在の 一四
は六五〇〇(附加税とも)
が五〇〇〇億圓程度に引
上げられる

住民税(市町村税)
は、地租、家屋税の課
税範圍の擴張や、國稅
富裕税の創設などを考
慮し資産に對する重複
課税を除けるため課税
標準を、從來の人頭割
資産割、所得割中資産
割を除かれることにな
つた。

なお人頭割は都市七
五〇圓、町村五〇〇圓

を對象とするものにあつては、二%とされるようである。税總額は現在二二二億圓(縣、市民税計)が六〇〇億圓圖に引けられる。

以上であるがこれらの諸点を綜合して仮りに本縣における税制改革後の稅收入を想像し

大を要するものであり、
ためには思い切つた税
務機構の擴充強化が要
求されているのである
(塩崎税務課長)

【肥料需要量調査
について】
農家の皆様へ
お願い】

最近の各統制
肥料の出廻り状
況は非常に良くなりキ
ャー

▲「石の上にも三年」といふ「乞食の子も三年たてば三つになる」という。▲何事にしろ人並の水準に認められるまでには三年の苦勞がいるものらしい。▲それれに、まだ三年に一年

時評
創刊二周年
を迎えて

「縣民の友」も本號を以つて二周年を迎えることになつた。創刊號を出したのは昭和二十二年九月二十一日であつたから、民選初代の小野知事がその職に就かれてから約半年にして生誕を見たわけである。従つて種々の方法

民主縣政の在り方が縣民の選出した、知事によつて知らしめられるに

縣民の選出した、知事によつて縣民のために、縣が專任の機關を置き、此の「縣民の友」を發行することになつたのであるなら、縣民代表の縣會議たのは、小野知事が民

員によつて縣政運営の根本方針が定められることは勿論であるが、その施策の方針を審に、その實策運営が如何に民意に適うたものか、縣民として知る權利があり

斯くて生誕した「縣民の友」が苦辛經營その重任を果すべく必死の努力を續け來つたのであるが、未だ充分にその使命を果し得てゐるものと自らも許せないのであつて、編輯部員の等しく遺憾としてゐる所である。それにしても、タブロイド二頁のものを四頁に増大し、内容を蒐集撰擇し、編輯印刷に工夫を凝らし、寫眞版を多數挿入して愛される「縣民の

たのであつたが、本年六月十六日附を以つて弘報係に改められ、その任務を鮮明にし、「縣民の友」を發刊するのと共にラジオ放送に、或は放送自動車エコー號を走らせて直接縣民に呼びかけ、或は各團體の催しに協力する等、あらゆる機會を捉えて、縣政を周知徹底させ、理想的なる民主縣政の招來を念願しているものである。

近時各縣とも専任主

け、諺員二十數名を擁しその機關紙は縣民十戸に一部宛の多數を發刊している縣もある縣である。けれども、既に二周年を迎へ第六十三號を出すに至つた本縣は、けだし諸縣に先鞭をつけたものとして誇り得るのではあるまいか。

然し乍ら、歴史は單に古きを誇つてはならない、その實質如何が問題になるのである。機構が實質をある点まで決定するならば、機

り縣民のための縣政たらしむべく、縣政の在り方を常に念頭に置き、民の情意が充分に通し一体化が成るよう粉骨碎身の決意を堅めてゐる次第である。

幸い知事初め上司や縣會議員各位の深い理會と指導の下に、縣民諸賢の絶大なる御協力を得て民主縣政の實を十二分に擧げたいものと、二周年を迎えるに當つて只管念願して止まないものである。

(編輯部)

税の現行税額について標準率によつてゐるのの標準超過課税の場合には多少計數に相違があるものであり又雜稅關依の府縣市町村税區分が判明しないので計算に入れていないが若干に減少することとならう。

此度宮崎縣西諸郡郡
加久藤村村長江浦地區
總面積三二〇町步に全
入植戸數八九五戸を計畫
した。(二十三年度末の
現在戸數六九戸)その中
中、和歌山縣への割當
戸數は一〇戸である
が、現在既に三家族の
申込があり、従つて残
り七家族分は未決定に
なつてゐるので入植希

望者は至急（遅くとも十月五日迄）縣開拓課へ申込まれたい。

尙この地區の地形は標高四〇〇米—六〇〇米の緩傾斜地で日受は良く、土質は植壤土である。道路は縣道から至便、最寄驛は吉都線加久藤驛で送出自は十月中旬の豫定となつてゐる。

マには「いくらか格構がついて来た」とオダデなつて来た。▲お調子者揃いの編輯室一同同うまくこのオダデに乗つて只今更に一段の飛躍を策しつゝあるとどこもさりながら縣政民主化徹底の大悲願は更に高く且つ遠い。▲切に縣民各位の御鞭撻が願いたる。(M)

九月十一日號は都合に依り休刊致しました、御了承さう。

中央指定地區入植者募集

此度宮崎縣西諸郡久藤村長江浦地區面積三二〇町歩に全植戸數九五戸を計畫した。(二十三年度末在戸數六九戸)その和歌山縣への割當數は一〇戸である。現在既に三家族の込があり、從つて殘七家族分は未決定にしているので入植希

望者は至急(遅くとも十月五日迄)縣開拓課へ申込まれたい。

尙この地區の地形は標高四〇〇米一六〇〇米の緩傾斜地で日受はよく、土質は植壤土である。道路は縣道から至便、最寄驛は吉都線加久藤驛で送出自は十月中旬の豫定となつて

[illegible]

税制改革後の本縣稅收入は？

縣	稅	目	現行稅額	改正見込 稅額	比較增減 (△)

肥 最近の各統制
料の出廻り状

したので來年一月（秦肥）からの之等の割當も農家の皆様方の需要量を参考に致したいとの考えから今回政府の方針として全國的に農家より需要量を申告



信譽

西牟婁郡二川村
二川中學校助教諭
岩見敏二

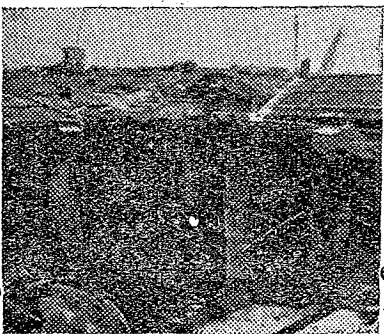
と耐乏生活を否定しとも云うべき半面思惟唯物論者が奇妙な論説を以つて精神存在の否定をしたり近視的な「人民」の定義のみによつて大衆を無視した全く自己本位の斗争があつたり。良識者正直者と闇商人と云はれる戦後派の人々の生活程度の違ひ、とうもろこし粉より白米でない、唯個人々々が定しても作ることは出来ぬ、唯個人々々がより良き大きな幸福の獲得のための耐乏である、と云ふ自覺のみが精神支柱の強度を大にするのである。吾々は九原則のよい處とし九原則の成功即日本再建を希望として彼の英國民以上の道義心の高揚と耐乏生活を實踐せねばならぬ。

四、協同精神が耐乏生活により良き効果をもたらすことについて

さて以上の如く吾々は九原則を完全にマスターすれば、當然日本の動きについて理解しそれから再建の方式を模索びとり再建の爲に個々の生活が相當な困苦の下に置かれ即ち耐乏

戰災寫真送附

一九四五年八月十五日、干戈教育の大太平洋戦争もミズリー艦上にてピリオドを打たれ、爾後四年、日本國內は既に再建の鎚を高らかに振り上げている時、地球のかたがたブラジルに於ては、未だに日本の敗戦を信じない邦人が居り、殊に「臣道連盟」などと云うテロ團が騷擾を事として居るという、ブラジル在留の日本人は三世の日系



十八万二世
 も入れて三
 十萬の邦人
 が生活して
 いるのであ
 るが、かゝ
 る眞漢邦人
 が居る事は
 國際人とし
 て新しく再
 出發した我
 々の前途を
 又々どん底
 におとすか
 も知れない。
 先日歸朝した、大竹
 忠次郎氏（東郡西向町
 出身）の要請に依り、
 弘報係眞班は市内の
 未だに戰災の後をとど
 める場所をカメラにお
 さめ、一日も早く誤れ
 る人々の蒙を啓くため
 送附した。

生活の實踐の必要が判つて来るであらう、抽象的なものとして樂觀的推理で耐乏生活が縣民に理解されたと公式的に並べたのであるが此の實踐は容易ならぬ問題であるさりと云つて置くべき大問題である、さてこの耐乏生活に於て吾々は物資の節約各種産業の振興増産を圖らねばならぬことは勿論である、高價な香水の輸入、煙草の輸入等生活必需品以外の物資は極力輸入を止めて輸出物資の増大を圖らねばならぬ事は國民として當然の常識である。耐乏生活の消極面に於ても、積極面に於ても、特に積極面即ち増産輸出協同の振興に於て私は協同精神を強調したい。特に吾々が和歌山縣に於て農村殊に貧弱な山村が多くののであるが個々の單位の力は微々たるもので例へ立派な着想

失業に對する方策は失業の實態並にその原因に應じて樹てられなければならぬ。從つて先ず雇用の現狀を把握することが必要である。そこで職業安定機關は雇用の趨勢、失業の動態雇用口の職務失業者の質的構成等の解明に出來うる限りの調査と諸種の資料に基いて努力しなければならぬ。然しここで雇用の現況やその原因を究明することをやめてたゞ失業對策を一わたり眺めてみたい。というのは九六万縣民の人力豫算を案じようとするものでもなく又職業考へ始められた——即ち山村に於ては粟、養蠶の獎勵、農村に於ては家畜類の飼育等々其の地狀に應じて各種の副業が考へられている

説 失業對 職業 職業安定

を失業から防ぐことであり後者は已むなく失業した者を救済する策である。さて失業防止策の第一は現存の労働需給をスムーズに結合するために定全な労働市場を形成することと

とまれ私は生産者、消費者、農山村民、都市民を問はず協同精神を主張した又その精神の下に運営される組合（農協組合等）をよ

ある。公共職業安定所の主な機能は、こゝにあるようである。即ち公共職業安定所は労働需給の中心となつて凡べての求人と求職を集中して結合させるのである。このために公共職業と

業安定所は雇用主を訪問し或は巡回相談所を設けてたと一名の求人をも確保しようと努め凡ゆる求職者を受付けて適職適性の結合を圖らなければならぬ。そしてこれは縣下

貧乏の底から這ひ上り立ち上らねばならぬ。それがため今一度郷土の科學的調査研究とそれから算出される開

發について考へねばならぬ。

八ヶ所の公共職業安定所ばかりでなく全國五二五ヶ所よりなる組織によつて營まれてゐる。因みに本縣の公共職業安定所の窓口をみれば本年一月より七月までの求職者の數は一萬五千余名に對して求人は二万余名であり就職者は四千二百余名である。然しながらこの春以來急激に増加した失業に對して雇用機會の減少は例へば七月の求職者を考慮しなければならぬ。

のは個々撒発的な小資本による対策は必ずや組織化されたものに壓迫されることは必然のことであるたとへ壓迫を受けなくとも他からの大資本に蠶食されることが多い吾々は今數多く協同組合をもつてゐるのであるから之の精神と充分に活用して副業も協同でもつて考へ又事業として振興したりする事が肝要である、由來日本人殊に農村村民程斯くの如き面には於て個人主義なものに依り自己の勞働力のみに依頼してつて協同による力の偉大な協同による利益を知らないものが多い。

明るい希望のもとにしつかりとスクラムを組んでゐたものである。耐乏に耐へ懇話をはねとばし自分を豊かにし社會を富ますその力は、ぐつと組んだ協同の力であらう。

五、輸出産業の振興を縣民一丸となつて圖りたい

耐乏生活から吾々は輸出を増大せねばならぬ現在和歌山縣の輸出物資の他にまだ、本縣の特色を生かして數多のものが出て來るであらう一例へばアンゴラ鬼の様に――吾々はこの目的の達成の手段として先頭で述べた様に協同による企業、協同による製造、協同による飼育等々協同の力で金詰り企業難を押し切つて行かねばならぬ現在の諸組合の完全なる運営をもつて個人の力を集め組織化するれば個人々々は獨立に行ふ場合より少ない勞力と經費でもつてその實績を増大し得ると共に他からの壓迫にも耐へ得ることが出来るのである。本縣は云はば貧乏縣である吾々はこれの

見出すことや觀光施設
の完備や或ひは又各地
で撒發的に行はれてい
る有望な事業（油桐や
和紙等）の協同による
合理經營とその發展化
等々其の他其の場に於
て斯く考へられるもの
があるに違ひない、吾

祝！ 癸刊二周年



創立五百廿年 日本 豊油七福

最高標準化

オコー

油 誌

紀伊振興 豊油株式会社

か海の底から、山の
中に田の中に、吾々を
輸出となるべきものを

受神を押し出して、これを神祇である、

結 語

憶へば終戦後の經濟不安、極度の食料不足を良く耐へ來たつたものである、元帥の指導米國民の好意に負ふ處は大きいとは云へ――あの苦斗からあの暗黒な不安から斯く今日迄成長し來たつたではなにか、然し試練は終わったのでない吾々は又新しい而も大きい試練を迎へたのである、それは如何にして自立し如何にして平和を擁護するか――

現代日本人の悲劇は自信の喪失から生ずる聖サヴィエール四百年祭に來朝されたギルローイ卿の日本人觀を吾々は自信をもつて受けようではないか

曰く太平洋に於ける平和國家として日本人は必ずその責任を果すであらう――と 終

標準店が選定され
お買物が便利になります

和歌山縣標準店組合

和歌山市	紙鷺商店	中野文具店	大山元文紙店	波戸元文紙店	鈴木木紙店	島本紙店	樋口紙店	鈴木上雜貨店	池田文具店	前田雜貨店	鳥羽物進堂	大平洋化粧品店	ミキヤ洋裝品店	中六藥局	八百善店	網善支店	角谷藥局	稻葉文具店	岡本キリン堂	島澤和洋紙店	今西紙店	高堰紙店	三笠屋文具店	原喜紙店	和田文紙店	湯川紙店	岩市文具店	紙坂紙店	築瀬文具店
和歌山市	標準店名表	和歌山市	中尾ミシン紙店	百合川紙店	竹内履物器店	徳常青物店	張井木工會社	坂崎文具店	糸川玩具卸店	海南市	名手紙店	小川紙店	備忠紙店	筒井商紙店	永田紙店	三ひる紙店	千栗紙店	佐野商紙店	田邊市	金與紙店	上平紙店	松平紙店	谷豐紙店	山口紙店	標準品賣場	丸正	宮井安堂	玉露園	

農林省の家畜薬許可薬品

牛馬豚用に——牛馬救命散
犬猫羊鷄に——家畜救命散
全國農業會及藥局に有り

本 舖 八七製藥株式會社

和歌山縣 協同聯合會
發賣元 購買農業組合

和歌山市納定九〇
(電話) 一八六番



美しく始まり
有益に終るものを掴
め！
それが幸福への道だ
—アナトール・フランス—

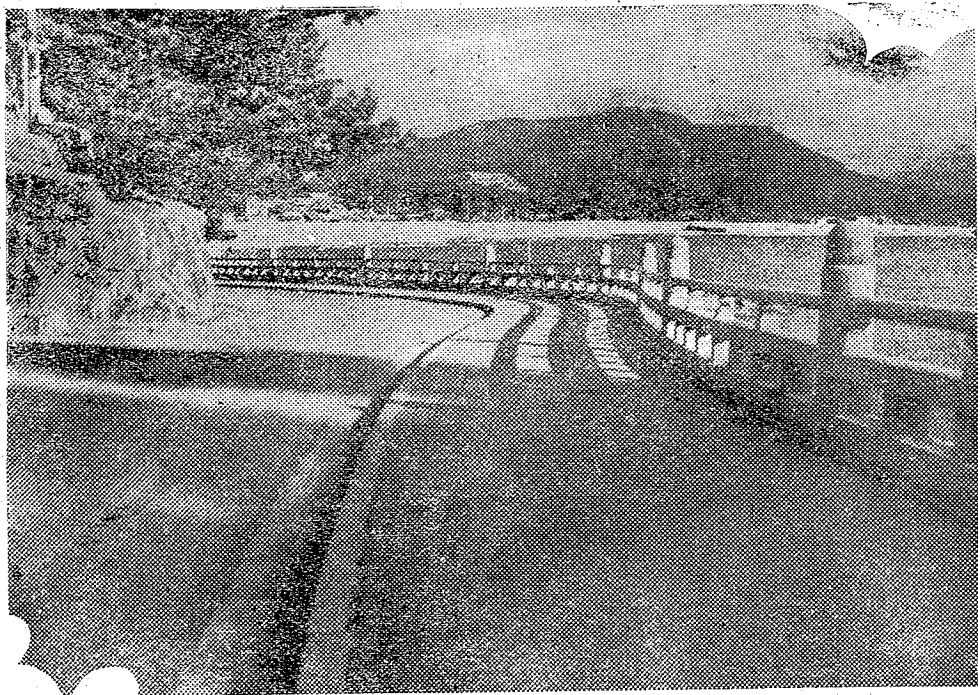
和歌の浦 喜多村 進

名勝舊蹟観光コンテスト

「和歌の浦行き」の電車と、これと土地のつながり。若し人あり、この質問をしたとする。その人は、確かに土地の人ではない。

「わかのうら」のことは土地のつながり。若し人あり、この質問をしたとする。その人は、確かに土地の人ではない。

「わかのうら」のことは土地のつながり。若し人あり、この質問をしたとする。その人は、確かに土地の人ではない。



わかのうら
わかのうら
わかのうら

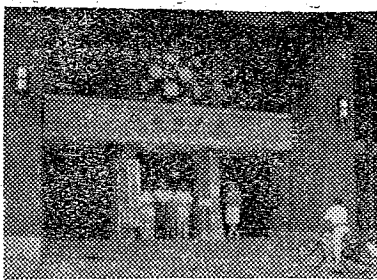
ならずとも、ゆかしい「行く春」の一句に酔うことが出来る。和歌の入江は、殊に月が良いが、近代の俳人に、遠く名草山を望み、片男波に打ち寄る波を眺めると、飽くことゝなる。その他東照前の松並木は昔の和歌の松原の名残りであり、捨て難い風情を添えて、又天満宮の石の階段の勾配と言ひ、石の組み合せに古雅な趣がある。

此の秋に松の害 虫を絶滅

八月の炎天を穴の中で過した害虫の松喰虫は、少し涼しくなつた九月に入つて既に幼虫になつてゐる。特にゾウムシ、カミキリムシは九月十月が最後の活動期で今盛んに松の樹を荒している。かくてはならじと縣では九月及び十月を「害虫一斉防除期間」として、被害地区に呼びかけ、あつまで害虫を根絶すべく協力を望んでいる。

東京に物産販賣幹旋所 國內販路の擴張

縣では貿易の振興と、展覽會博覽會の開闢、商況及び情報の通達等を期するため東京に物産販賣幹旋所を設置する計畫を樹て、内野村ビル五階の縣東出張所に併置し展示場を開設した。



秋夜隨想

含羞の歌人(二)
式子内親王の歌
栗栖 安一

「わが生命よ、いつそ死ぬなら死んでしまつておくれ。此の様に悩ましい日々がつゞけば、胸の奥に秘蔵しておきたい出来事、顔に言葉にまたは行動に現はしてしまふでせう。けれども、恥しくてそれは出来ない。とてものこと、死ぬ方がよい。」

このような佳人の激しい情熱と柔軟で強い意志と、しかも限りなく深い含羞の美を我々は否定することが出来るであらうか。

縣民皆様の叱咤激励を、全国的にも紹介して「縣民の友」も二週年を迎えました。益々殊な記事大いに歓迎を募集します。優秀なものには、原稿を呈すると共に、内容に依れば弘報係の寫眞です。殊に市町村、學班が現地出張して撮影校、團體等に於て縣内する事もあります。